

# 面積計算のTriangleList 取扱説明書

面積: 23.96 m<sup>2</sup> (23.96 m<sup>2</sup>)

メニューボタン

路線1

番号	測点	辺長A	辺長B	辺長C	親	接続
2		6.0	5.0	5.0	1	B
3					2	-

既存三角形の書き換え  
新たに追加する

     

鉛筆ボタン

## 1 三角形を書き換える。

現在表示中の三角形の辺をタップすると、選択辺が黄色に変化し、画面の下部にキーボードが表示されます。

2回タップすると1段目の選択辺の欄にカーソルが移り、数字を書き換えて緑の鉛筆ボタンをタップすると、三角形の形状が変化します。

## 2 三角形を追加する。

先ほどと同じように、現在表示中の三角形の辺をタップし、2段目にカーソルを移動させます。

この状態で、辺長Bと辺長Cの空欄に数字を入力し、緑の鉛筆ボタンをタップすると、三角形が追加されます。

## 3 様々な接続形式について

三角形を追加する際に、表組の右端の、接続の欄をタップすることで、様々な接続形式を選択できます。

二重断面積接続（BL、BC、BR、CL、CC、CR）

辺長Aに親三角形と異なる辺長を入力することができます。

フロート接続（BF、CF）

親三角形と平行に、1 m離れた位置に三角形を追加します。

#### 4 保存する、読み込む

現在編集中の図形は、アプリの内部に自動で保存されており、  
次回の起動の際も自動で復元されます。

新たに別の図形を作成したい場合は、上部のタイトルバーの右側の  
メニューボタンをタップすると、

現在編集中の図形をデバイス内やGoogleドライブ上に保存したり、  
読み込む事が出来ます（CSV保存、読み込み）。

CSV形式は、パソコン上でも開くことのできるテキスト形式で、  
Excelなどで寸法値を再利用することが出来ます。

また、CADソフトで編集するための図面形式として、  
DXF、SFC形式の出力が出来ます。

#### 5 三角形の辺長や番号の文字を、互いに重ならない様に整える



画面左下のA+またはA-のボタンをタップすることで、  
文字の大きさを変えることが出来ます。



また、右側の、指で数字を指しているボタンをタップすることで、  
辺長の配置方向を変えることが出来ます。

三角形の番号標示も、置きたい場所をタップして



赤の十字カーソルを表示させたのちに、  
右下のFLAGボタンで任意の位置に再配置することが出来ます。

#### 6 面積控除の図形を入力する



画面右下の(控)のボタンをタップすることで、表組が赤に変化し、  
控除図形の入力モードに切り替えることが出来ます。

入力手順は、名称の欄に名前を入力し、円の場合は辺長Aの欄のみ数字を入力、  
または長方形の場合、AとB両方に数字を入力したのち、



図形を置きたい場所をタップして赤の十字カーソルを表示させたのちに、  
赤の鉛筆ボタンをタップすることで、控除図形が配置されます。



名称などの文字を旗上げさせたい場合は、右下のFLAGボタンをタップします。